

其田内閣顧問閣下

水  
1842  
本

上島式製鐵法實施計畫概算書

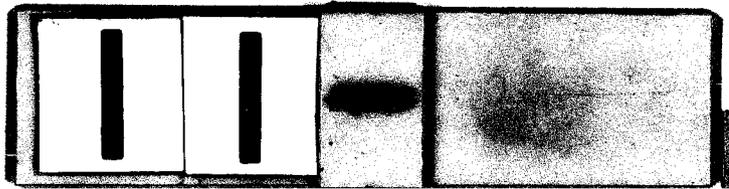
上  
島  
慶  
篤

篤

篤

其田内閣顧問閣下

篤



上島式製煉法實施計畫

一 大要方針

二 製造機ノ概要

三 工場及所在地

四 施設設計書表

五 工事豫定計畫書表

六 製造機定機

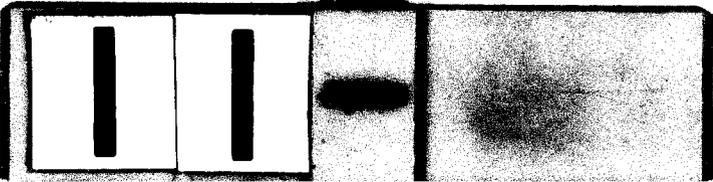
七 原料取得計畫及原料製品輸送計畫

八 施設用所要資材明細書

九 勞務者雇傭計畫書表

十 電力調達計畫書表

十一 資金計畫書表



大 要 方 針

技術及建設資材、元價計算、生産分析等ハ凡テ技術院報告ヲ参照セリ  
 レ度シ、只便宜上必要ナル引證ヲ茲ニ再録スルコトアルベシ  
 要領増産方式トシテ高値一貫作業ノ擴充ハ當然タル事ニシテ從來政府  
 ノトリ来リタル大型高値ノ増設ハ勿論絕對必要ナル事ナリ、只小型、  
 電氣、チルミツト等ニハ代用的ノ意味ノ外技術上又經濟上ハ次第ノモ  
 ノタル事ヲ前提トス

今後上島式ガ協力ヲ得ル限度ハ一千万瓦工場ノ建設ニシテ更ニ必要ナ  
 ル場合ハ前記各方式ノ増強ニ進マレンコトヲ望ムモノナリ、即チ高値  
 一貫作業ヲ續トシ上島式ヲ横トシ相共ニソレソレ必要ナル鋼材ノ豐富  
 ナル供給ニ當ラントスルモノ即チ上島式低溫還元法ヲ提唱シ來レル所  
 以也

基 本 上 島 計 畫		臨 時 計 畫	
立 地	目標電數	臨時建設 方 瓦	石 炭 引 當 テ
柳 原	五〇万瓦 北海道	一〇〇	山形ヨリ 陸 軍
島 海	二〇〇	一〇〇	同 海 軍
福島地方	二〇〇	一〇〇	東方炭礦 商 工 省
北海道	一〇〇〇		
樺 太	二〇〇〇	一〇〇	樺 太 海 軍
○ 〇	一〇〇〇		
南 洋	五〇〇〇		
計	一〇〇〇〇	四〇〇	

石炭取得  
 常經費(東方炭礦)  
 北海道  
 樺太  
 現地  
 原油ニヨル

即チ臨時計畫ニ於テハ應急建設トシ立地其他ヲ考慮シ前記四ヶ所ニ着  
 手スル計畫ニテ已ニ當局者ト其ノ方針ニ向フテ計畫ヲ進メテアリ

建設方法並ニ運営

臨時建設ニ早急ヲ要スル都合上上為獨力ニヨリ建設ニ着手ス、但シ資金ノ大部分ハ營團其他ヨリ融資セラルル豫定ノ下ニ進行  
然シテ本橋の建設ノ場合ハ廣ク天下ノ資本ヲ集メ學團的株式会社トシテ運営セントスルモノナリ、本件技術院元案参照ノ事

元料關係

一 元料ハ泥礫鐵ヲ主トシ塊狀礫鐵及砂鐵ヲ混用ス又買ニ將來ハ赤鐵、礫鐵、要母鐵ノ高價用トシテノ粉鐵モ又利用スル豫定ナリ但シ營分ノ間ハ工場附近ノ礫鐵ニヨリ實施スル計畫ナリ

第一次ニ使用セントスル礫鐵分析ハ大体左表ノ如シ

鐵 分 結晶水分 磁 鐵 雜 流費(乾燥ノ場合)  
五〇以上 一五 一〇以内 少 少

一 石 炭 將來ハ樺太產ヲ主トシテ用ヒ然モ人造石油ノ開産コトヲイトテ利用スル計畫ナルモ臨時工場ニ於テハ附近ノ礫炭ヲ用フ

其ノ見込如左

柏原工場 山形地方石炭

八〇〇〇カロリーヲ主トシ北海道ヲ併用

島海工場

福島工場 茨城 炭

八〇〇〇カロリー東北炭礦ト約東濟

神 太 樺太現貯炭ヲ用ユ

何レモ現地買入レユヨリ運轉

人的資源

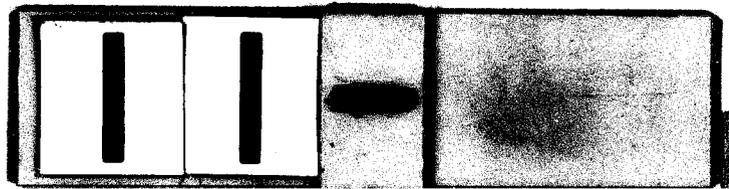
計畫決定資金拂込ト同時ニ全國ヨリ必要ナル技術、技手其他ヲ採用ス、其ノ後ハ後進ノ進リ

設 計

已ニ完了シアルモ、事業決定ヲ正式ニ見ル迄ハ關入スル事不詳

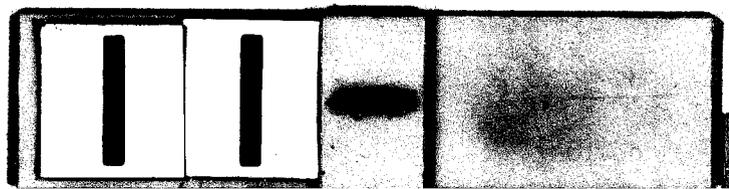
論

仲々ノ大仕事也、特ニ急グ故更ニ面倒也政府ニテ充分ナル腹ヲ決メテ  
タレナケレバ此ノ實行ハ困難ナリ從來ノ經驗デハ此ノ苦心配ナリ  
現ニ大連一〇万屯ハ四年間ニ立テ廢レノ例アリ上島ニ特別ノ實行力ヲ  
附與セラルルコトヲ望ムモノ也云フニハ易ク實行ハ難シ殊ニ今日ノ實  
情ニ於テハ例ヘ四十万屯ト雖モ平均ノ四百万屯以上ノ苦心アル仕事ナ  
リ、充分ナル理解アル支援ニアラザレバ不可能ナル事ヲ一言申上置キ  
マス



製鐵法ノ概要

日本内地及神太ニ存スル土粉褐鐵礦ヲ上島式圓鐵法ニ依リ圓鐵トナシ  
還元劑トシテ日本内地及神太ニ産スル非粘結性石炭ヲ用ヒ上島式低溫  
還元爐ニテ處理シ極メテ優良ナル海綿鐵ヲ得ル方法ナリ

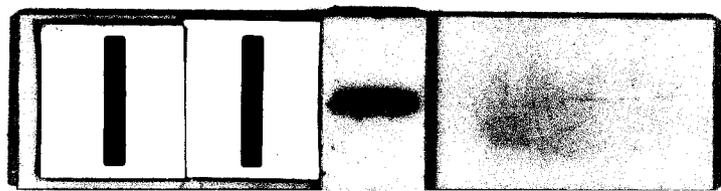


工場及所在地

年一〇万有製造設備ヲ

島海一工場  
神太一工場  
柏原工場  
福島工場

建設センター



海

上

五

五

五

五

五

五

五

日

鉄

街

坂

豊

田

大

村

岡

部

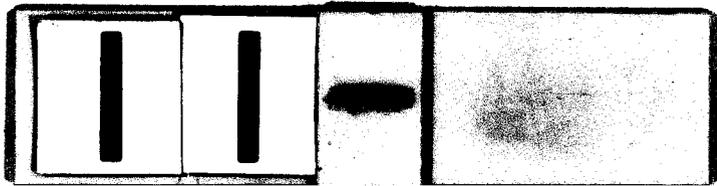
部

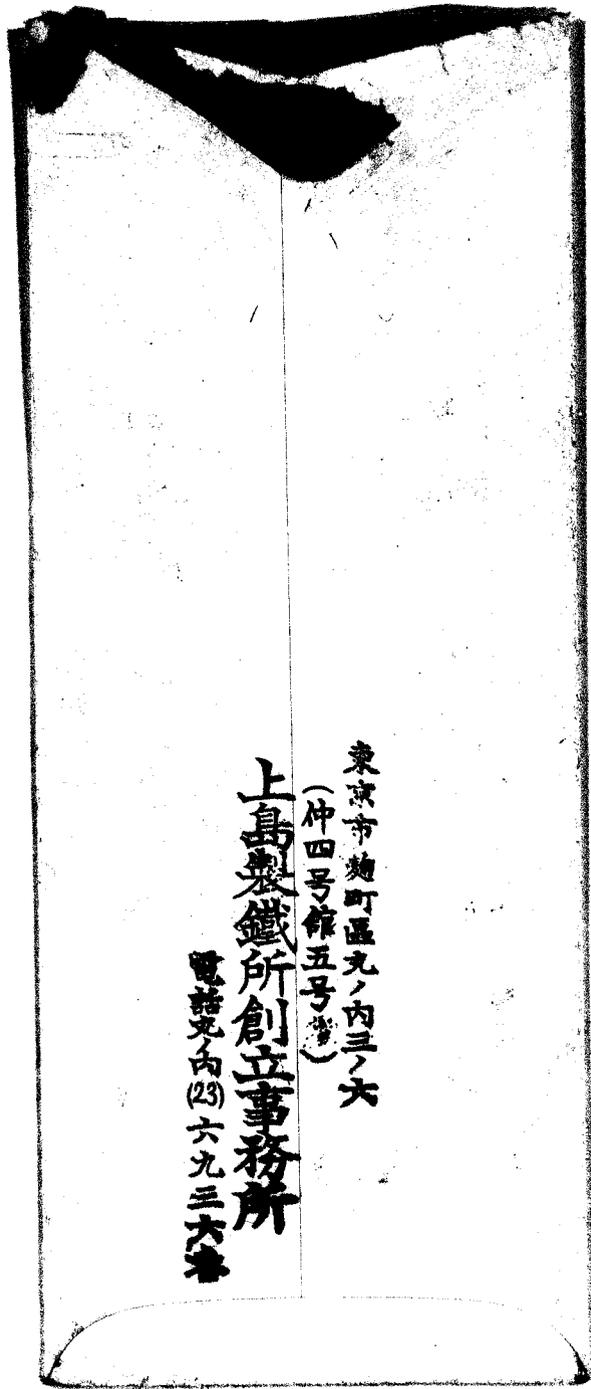
部

水

田

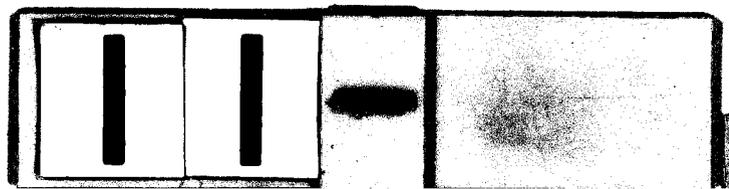
部





東京市麹町区丸の内三ノ六  
(仲四号館五号室)

上島製鐵所創立事務所  
電話宛内(23)六九三六番



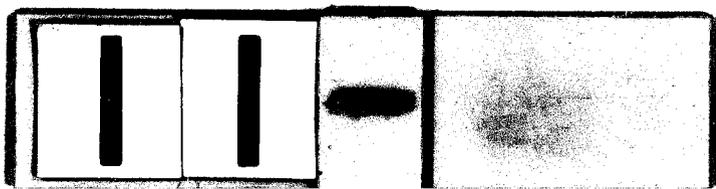
土木建築

施設計畫表

工事名稱	新設設備計	構造	工事
上島還元爐上家	六〇〇坪	鐵骨コンクリート	工場及礦山
原料處理工場	二〇〇	木造	
成品處理工場	二〇〇	木造	
成品置工場	五〇〇	木造	
養生爐上家	一〇〇〇	鐵骨コンクリート	
藥品倉庫	五〇〇	木造	
事務所	四〇〇	木造	
修理工場	一〇〇〇	木造	

設備

工場名稱	設備名稱	能力	新設設備計	記事
原料處理工場	乾燥機	年一〇万瓩	一基	一工場當り
	フレットミル	一日六〇瓩	八基	
	豆袋機	一日二〇〇瓩	三基	
	運搬用ベルトコンベヤ	一		
成品處理工場	動力攪別機	一日一〇〇瓩	一基	
	運搬用ベルトコンベヤ	一		
養生爐工場	石灰瓦斯發生爐	一日二〇瓩	四基	
	其他附屬設備	一		
修理工場	小物修理機一式			



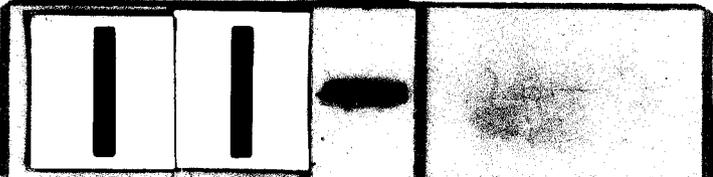
工場設備工事豫定計畫表

年 別	工 事 名	造元價工事	消機被設備	建 物	配 事
第一月日	諸材料入手直ニ着手				
第二月日					
第三月日					
第四月日					
第五月日					
第六月日	完 成		完 成	主要建物完成	
第七月日	試 運 轉				
第八月日	試 運 轉				
第九月日	全 運 轉			倉庫其他完成	

(附)  
 設備完了期日ハ貴軍御援助程度ニヨリ大ナル差了ルモ本案ハ最大ナル御援助了ルモノトシテ計畫セリ

製 糖 機 設 定 表

年 別	月 日	第 八 月 日	第 九 月 日	配 事
製 糖 機		4000担	2500担	以該毎月2500担



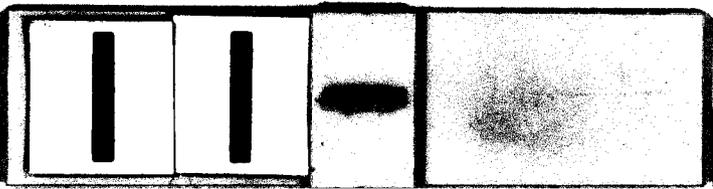
原料取得及び原料成品増添計表

品名	取得場所	現地	現地	数量			記 事
				月	月	月	
石	現地	現地				250.000	大連方針ニ示ス
石	現地	現地				100.000	
箱	現地	現地				250.000	大連方針ニ示ス
石	現地	現地				100.000	

設備擴充用所需資材明細書

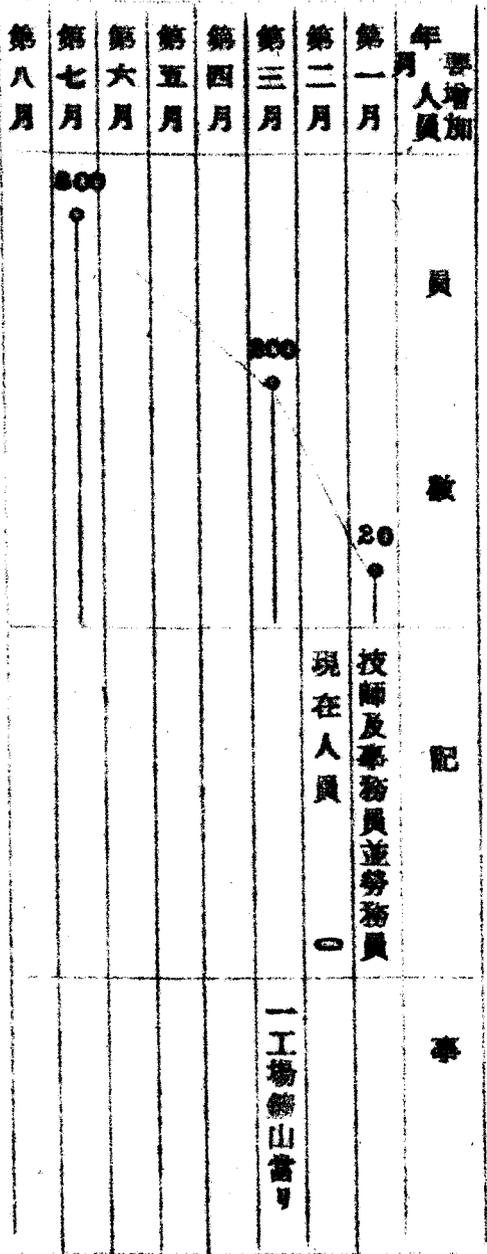
土木建築用

物 資 名	分 建 物 用	工 作 物 用	配 置
鋼 筋 材	1000	1000	一工場當り
鐵 板	100	100	
鐵 釘	100	100	
セメント	1000	1000	鐵山關係ノ含マサル モ木材ヲ以テ支辨ス
生 土	0	0	
木 材	1000 立方米	1000 立方米	社宅ヲ含マヌ
ダイナス煉瓦	1000	1000	
シヤモツト煉瓦	1000	1000	
赤 煉 瓦	1000	1000	
鋼 (線及塊)	10	10	
電 動 機	100 馬力	100 馬力	工 場 用
	100 馬力	100 馬力	山 用



別紙第六

設備擴充用勞務者雇傭計畫線表

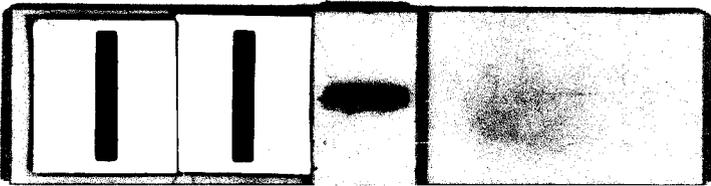
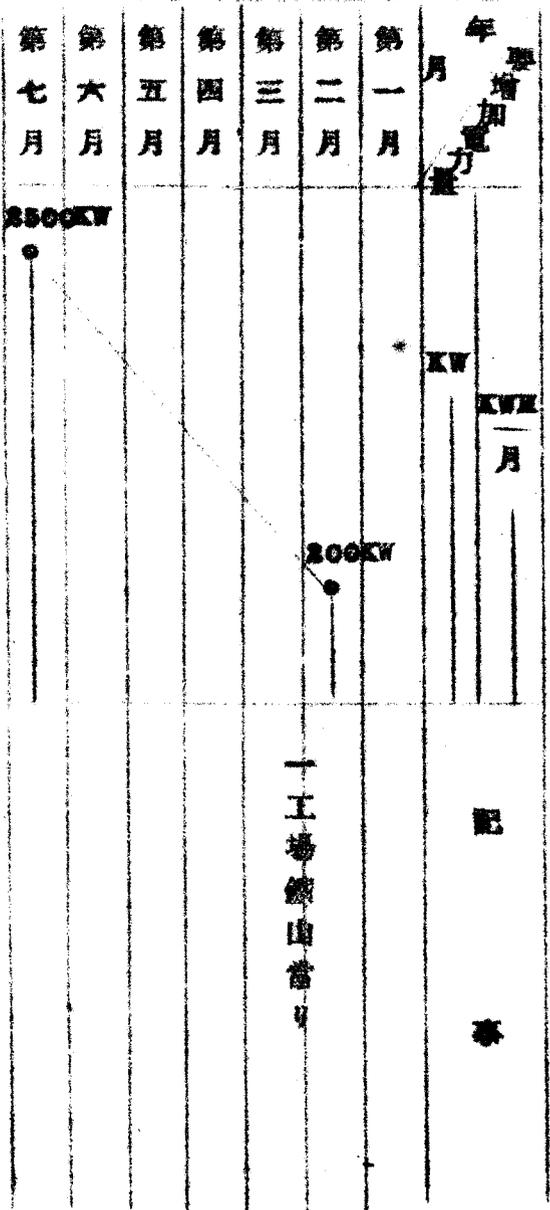


備考

特權ヲ與ヘラレ徵用ニ依リ希望者ヲ入レル豫定、製鐵國策ニ自發的の挺身セントスル熱血技師及ビ工員相當アリ

別紙第七

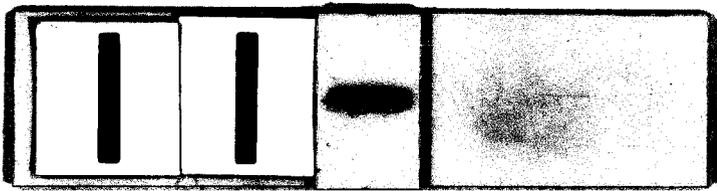
設備擴充用電力調達計畫線表



資金計置表

區分		金額	昭和十八年度	記	事
借入	自己資本	1,000萬圓	1,000萬圓		工場及ト礦山
	其他	1,000萬圓	1,000萬圓		用
使	土地				
	建築物	1,200萬圓			
途	機械器具				
	運轉資金				
其他					

(建設後備入レルニツキ計上セズ)



施設計畫表

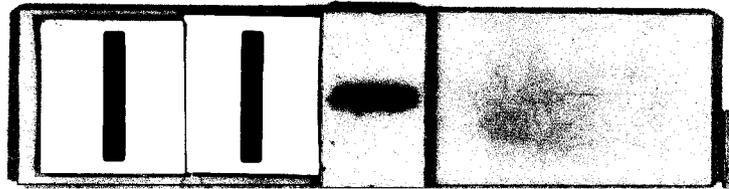
土木建築

工事名稱	新設	坪數	構造	記事
職員工員住宅	一六〇	二七二〇	木造平屋	
工員住宅	四〇〇	七〇〇〇	木造平屋建	二軒長屋

設備擴充用所要資材明細表

土木建築用

物資名	分	建物用	工作物	記事
硝子	一六八〇箱			並厚板硝子一箱一五〇平方呎入
木材	三二六〇方米			工員職員住宅用



設備運轉用資材

潤滑用油 1,500 罐 (一八立入)

變壓機用油 1,000 罐 (一八立入)

